

富山県フットボールセンター (日医エスポーツアカデミー)



所在地：富山県滑川市高月町129番
 総面積：34,000㎡
 設備内容：105m×68m 人工芝フィールド2面
 施主：滑川市
 施工：佐藤工業(株)
 電気：篠川電設工業(株)
 オープン：2013年5月

S227

県内初の国際規格の人工芝サッカーコートで、敷き詰められたチップは雨などに流出しにくい熱可塑性樹脂の「エコフィル」を採用。照明は、省エネ・省メンテ・瞬時点灯・瞬時再点灯の特長のある最新のLED投光器を導入しています。

総合型地域スポーツクラブの活動拠点として、県内で初めての国際規格の人工芝サッカーコート

フットボールセンター富山(愛称：日医エスポーツアカデミー)は、スポーツを通して人々の健全な社会活動に貢献することを目的に、多様な育成プログラムを提案・実施する施設です。人工芝2面を生かしてのサッカー、フットサルやラグビーなどが行われ、敷地内にある体育館、格技館ではバスケットボール、ハンドボール、バドミントン、バレーボール、レスリング、テニスなどの楽しい余暇活動を可能にしています。新たに整備された屋外グラウンド(105×68m)のナイター設備は、低消費電力で長寿命のLED投光器が採用され、パワフルな大光量を発揮しながら、快適な競技空間を実現しています。

省エネルギーをはじめ、長寿命、瞬時点灯・再点灯が可能な最新のLED投光器を導入

採用されたLED投光器は、従来の1kW形メタルハライドランプ投光器(消費電力1,050W)とほぼ同等の明るさを消費電力485Wで実現、約54%の省エネを図ることができます。同時に、メタルハライドランプ比約4倍の長寿命により、高所での保守作業に伴う球技場でのメンテナンスコストを大幅に軽減しています。

2面の人工芝フィールドには、1面当たり13.5m高さの照明柱4基に、各12台のLED投光器を設置(2面合計96台)。それぞれに狭角形6台、中角形4台、広角形2台を組み合わせ、競技を快適に行うためのレベル合わせや、鉛直面照度の確保、競技者へのグレア軽減、それに競技中は視線が常に動いているため、その視対象物の見え方などのチェックが実際に競技者の意見を聞きながら確認されました。

また、初期照度補正機能の搭載により、初期の余分な明るさをカットしてさらなる省エネを可能にしています。さらに、瞬時点灯・瞬時再点灯が可能のため、停電復旧や、イベント開催時の暗転などの演出照明が容易に行えるなど、安心・安全で、快適なナイター設備を満足する設備としています。



1面当たり高さ13.5mの照明柱4基にそれぞれ12台のLED投光器を設置



LED投光器は狭角・中角・広角を組み合わせ



3段に12台を搭載したLED投光器



点灯時のLED投光器



フットボールセンターのクラブハウス



LED一体形ダウンライト採用のクラブハウスのエントランス



直管形LEDベースライトを採用したクラブハウスの会議室

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
人工芝フィールド	LED投光器	LEDS-30401NW-LS2	16	LED 消費電力:225W
		LEDS-30401NM-LS2	32	LED 消費電力:225W
		LEDS-30401NN-LS2	48	LED 消費電力:225W
クラブハウス	直管形LEDベースライトバツフル付 LEDダウンライト	LEDR-42858-LDJ	36	LED 消費電力:75.3W
		LEDD-66001MW-LS1	33	LED 消費電力:67W